

くねっふ 議会だより

安心・安全な教育環境を目指す取り組みは **202号**
一般質問……………⑤ページ



— 訓子府小学校運動会 —
小学生最後の運動会 元気と笑顔が溢れる6年生

- も 6月定例会で審議した議案……………②ページ
- く 視察報告……………⑱ページ
- じ 議会の主なうごき／あとかぎ……………⑳ページ

令和元年 第2回 定例会

6月18日～20日まで



新規事業や政策的な予算を追加補正



令和元年度各会計補正予算については、原案のとおり可決されました。

一般会計

歳入歳出予算に2億6,899万1千円を追加し、総額を44億3,449万1千円としました。

■主な歳出内容

【総務費】

- ホームページシステム更新事業
9,567万円を追加
- 住民基本台帳システム機器更新事業
448万6千円を追加

【民生費】

- 訓子府福祉会補助金 68万9千円を追加

【農林水産業費】

- 畜産経営継続支援対策事業補助金（対象畜産業者）
580万円を追加
- 農業基盤整備事業（5事業）
3,940万9千円を減額
- 共同利用模範牧場水道管敷設替事業
357万5千円を追加

【商工費】

- プレミアム付商品券発行事業補助金
562万5千円を追加

【土木費】

- 町道舗装修繕事業 4,000万円を追加
- 橋梁長寿命化修繕事業 5,600万円を追加
- 公営住宅改修事業 2,600万円を追加

【消防費】

- 災害用備蓄品購入事業
278万5千円を追加

【教育費】

- 温水プール整備事業2,072万5千円を追加
- スキー場整備事業 364万2千円を追加

介護保険会計

歳入歳出予算に784万9千円を追加し、総額を5億7,494万9千円としました。

■歳出内容

- 国庫支出金等返還金 784万9千円を追加



条例の制定等

※原案可決

◆訓子府町森林環境議 与税金条例の制定

森林の整備及び木材利用の促進に必要な事業に要する経費の財源に充てるため条例を制定しました。

◆町税条例の一部を改 正する条例の制定

軽自動車税環境性能割について改正しました。

◆訓子府町新規就農者 等支援条例の一部を 改正する条例の制定

農業人材力強化総合支援事業実施要綱の施行に伴い条例を改正しました。

◆北海道市町村総合事 務組合規約の変更

北海道市町村職員退職手当組合規約の変更

◆北海道町村議会議員 公務災害補償等組合 規約の変更

令和元年7月16日に任期満了となる監査委員に平塚晴康さん(大町・新任)を選任することに同意しました。

3件とも構成団体の解散に伴い、規約を変更しました。

◆財産の取得

庁内ネットワーク及びコンピュータ機器等を(株)ズコーシヤから4,838万4千円で購入することに同意しました。

◆専決処分の承認

訓子府町介護保険条例の一部改正について急を要したため専決処分した旨の報告を受け承認しました。

◆幸栄団地公営住宅建 設工事請負契約の締 結について

久島工業(株)と8,370万円で契約締結することに同意しました。

人事案件

※原案同意

◆監査委員の選任(議 見を有する監査委 員)

令和元年7月16日に任期満了となる監査委員に平塚晴康さん(大町・新任)を選任することに同意しました。

任期は、令和元年7月17日から令和5年7月16日までの4年間。

選挙

※当選

◆選挙管理委員会の委 員及び補充員の選挙

令和元年7月1日に任期満了となる委員4名・補充員4名が、次のとおり当選しました。(委員)

森下 直治さん(穂波)
芳賀 孝司さん(大町)
村口多加代さん(東町)
太田 悟さん(東町)
(補充員)

・順位1位
川戸 洋子さん(清住)
・順位2位
齊藤 聡さん(東町)

・順位3位
木山 尚美さん(日出)
・順位4位
砥石 真吾さん(元町)

任期は、令和元年7月2日から令和5年7月1日までの4年間。

報告

※報告了承

◆繰越明許費繰越計算 書(平成30年度一般 会計予算)の報告

農業基盤整備事業等8事業の事業費8,185万5千円を令和2年度に繰り越した旨の報告がありました。

◆訓子府町ふるさとお もいやり寄付金等の 運用状況報告

平成30年度のふるさとおもいやり寄付金等の運用状況について報告がありました。

◆教育委員会の活動状 況に関する点検・評 価報告

教育委員会から平成30年度の活動状況に関して、点検・評価した旨の報告がありました。

◆出納検査結果報告

監査委員から4月から6月までの一般会計特別会計および水道事業会計について例月出納検査を実施した結果、出納事務は適法に行われ、異状ないとの報告がありました。

議員の派遣

※決定

次のとおり議員の派遣を決定しました。

○北海道町村議会議員研修会および道内行政視察研修(6月25日〜26日札幌市・滝川市 全議員)

○町村議会新任議員研修会(7月22日網走市 泉議員、谷口議員、仁木議員)

○北海道町村議会広報研修会(8月19日〜20日札幌市 泉議員、谷口議員)

町長からの行政報告(要旨)

◆強風による農業被害について

5月18日から21日にかけて発生した強風による農業被害についての状況及び町の対応等について報告がありました。

◆小型電気自動車の寄贈について

町に役立てていただきたいと、小型電気自動車1台の寄贈がありました。

これって なんだらう?!

「アート・タウン・プロジェクト」って?

この事業は武蔵野美術大学との連携事業で訓子府町における美術部門での人づくりを行う事業です。

令和元年度は

①彫刻作品公開制作

武蔵野美術大学推薦

の作家による「鉄」を使った作品の制作過程の公開。

作等の参考になる講座。

③旅するムサビのワークショップ

こども園の園児、保護者などを対象として「旅するムサビ」のメンバーが実施する。

②彫刻体験ワークショップ

子どもたちを対象とした夏休みの宿題や工

で、今年度予算額は約239万円程度です。



令和元年第2回定例会 賛否の公表

内 容	結 果	泉	工藤	谷口	河端	西森	山田	余湖	仁木	西山	須河
令和元年度各会計補正予算 (一般、介護)	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
条例の一部改正 (町税条例、訓子府町新規就農者等支援条例)	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
条例の制定 (訓子府町森林環境譲与税基金条例)	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
規約の変更 (北海道市町村総合事務組合同規約、北海道市町村職員退職手当組合、北海道町村議会議員公務災害補償等組合同規約)	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
人事案件 (監査委員の選任)	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
財産の取得 (訓子府町庁内ネットワーク及びコンピュータ機器等購入)	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
契約の締結 (幸栄団地公営住宅建設工事請負契約)	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
専決処分の承認 (訓子府町介護保険条例の一部改正)	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

○：賛成、×：反対

※須河議員は議長のため採決に加わっていません。

※各議案の採決で、異議なく原案可決されたものは、全員賛成したものとして表記しています。

一般質問

一般質問の記事は、各議員が音声データを基にして書き上げたものを掲載しています。

安心・安全な教育環境を目指す取り組みは

教育長 ▼ ▼ ▼ コンプライアンスの徹底に取り組む



泉 議員

泉 急務である居武士小の教員欠員補充はどうなっていますか。

教育長 教頭が仮担任となり学級運営を行っており、道教委はじめ管内・管外にも人材を求め欠員補充に努力しているところです。

泉 体制の整備が簡単ではないことは分かったが、児童の心のケアについて長い目できちんと見てほしいのと、学習に遅れないよう十分目を行き届かせてほしいと思います。また教職員の働き方改革について意識が高まるなか、教員欠員による

業務負担増についてはどのように考えますか。

教育長 今在籍している先生方には確かに負担をかけているので教育委員会としても支援していく考えです。

泉 本町の児童生徒を守るための対策が必要と感じるが、教職員のコンプライアンスや研修を町として取り組む考えはありますか。

教育長 あらゆる機会を通じて服務規律の順守を喚起しており特に5月、6月はコンプライアンス月間とし不祥事防止に取り組んでいるところ。今後信頼される教職員を目指し学校と教育委員会が連携を図りながらコンプライアンスの徹底に取り組んでいきます。

泉 児童生徒が被害に遭った場合、学校での相談窓口はどこに当たっていますか。

教育長 相談内容により、担任・養護教諭・教育専門員が相談を受ける体制をとっているが、家庭や地域とも連携を図り、子どもたちの不安を取り除くよう取り組んでいきます。

泉 相談窓口はどこなのかを日頃から子どもたちに伝えておくべきです。口頭・書面の他に定期的にアンケートをとり、困っていることはないか確認するのも方法の一つではないかと考えます。

教育長 いじめ、体罰に関するアンケートは定期的に実施しているが、相談事については

今後検討していきたいと思えます。

泉 子どもたちを守るためにはSOSの声を聴くことから始まると思うので、現行のアンケートに組み込むことを検討願います。また、学校での防犯訓練の実施を検討いただけますか。

教育長 警察の協力を得て実施しているケースもあるようなので、今後検討していきます。

学校に頼るばかりでなく、見守り体制の充実やボランティアへの呼びかけなどの活動を考えていますが、町として今後の取り組みは。

教育長 日常的に複数の目で見守ることが一番の手立てと考えるので、地域の協力をいたしながら考えてまいります。



子どもたちの安全対策は

町長 ▼ ▼ ▼ 見守る体制づくりに努める



仁木 議員

仁木 昨今、子どもたちの大変痛ましく悲惨な事故や事件が続いており、町内の保護者の方々からも不安や心配の声があがっています。

第6次訓子府町総合計画の基本計画の第1章は「安心して子どもを産み、育てられるまちづくり」とあり、安心して子どもを育てられるまちづくりのために子どもたちの防犯対策や交通安全対策は重要課題だと思えます。

そこで、次の点についてお伺いします。

町内の防犯対策について、防犯カメラや公

用車等にドライブレコーダーの設置の考えはありますか。

町長 防犯カメラについては、学校と地域等が連携して行う登下校時の見守りを補完する

とともに犯罪を抑止し、通学路の安全確保を目的として、都市部を中心に設置するところが増えています。仮に防犯カメラを設置するにあたっては、地域、保護者、学校や関係機関の理解と記録等の取り扱いに関するガイドラインを設け、適正に運用する必要があります。これまでも登下校の防犯対策として、さまざまな取り組みを実施しておりますが、今後の対策を練る中で、検討させていただきます。

また、公用車のドライブレコーダーについては、町の公用車には設置していませんが、動く車両が防犯カメラ

としての役割を果たすことで、子どもたちの見守りのほか、あおり

運転や無謀運転の防止

など交通安全につながる

ことと思えますが、

犯罪件数が少ない本町

においては、設置効果

を検証しながら、公用

車の入れ替えの際に検

討をしてみたいです。

仁木 通学路等の安全

対策について、登下校

時の子どもや散歩中の

園児を事故から守るた

め、交差点や歩道など

に車止めポールなどの

設置の考えはあります

か。

町長 車止め施設につ

いて本町では、訓子府

小学校正門と南13線の

三差交差点、末広交差

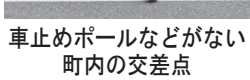
点に設置していますが、

これら以外の交差点に

ついては、除排雪作業

の支障になることや雪

が堆積され、見通しが



車止めポールなどがない町内の交差点

仁木 幼児・児童虐待について、

子ども園や学校などの教育現場で虐待とみられる痕跡の発見や、子どもからの何らかのSOSを見逃さず発見する対策、発見後の心のケアを含めた対応方法はどのようになっていますか。

また、第6次総合計画の基本計画第1章第1節に、「虐待防止ネットワークづくりの推進」とありますが、現状はどうなっていますか。

園児を事故から守るため、交差点や歩道などに車止めポールなどの設置の考えはありますか。

また、第6次総合計画の基本計画第1章第1節に、「虐待防止ネットワークづくりの推進」とありますが、現状はどうなっていますか。

現状については、児童相談所をはじめ、警察や保健・福祉・教育などの関係機関で構成する「訓子府町要保護児童対策地域協議会議」を開催し情報の共有を図っており、状況に応じて個々の事案について対応の協議を行っているところです。

また、公用車のドライブレコーダーについては、町の公用車には設置していませんが、動く車両が防犯カメラとしての役割を果たすことで、子どもたちの見守りのほか、あおり運転や無謀運転の防止など交通安全につながることと思えますが、犯罪件数が少ない本町においては、設置効果を検証しながら、公用車の入れ替えの際に検討をしてみたいです。

また、第6次総合計画の基本計画第1章第1節に、「虐待防止ネットワークづくりの推進」とありますが、現状については、児童相談所をはじめ、警察や保健・福祉・教育などの関係機関で構成する「訓子府町要保護児童対策地域協議会議」を開催し情報の共有を図っており、状況に応じて個々の事案について対応の協議を行っているところです。

これから子どもたちを虐待などから守るために、日常的に子どもに関わる大人はもとより、関係機関や地域が連携しながら、子どもたちを見守る体制づくりに努めてまいります。

住宅リフォームや店舗改修の今後の考え方は

町長 ▼▼ リセットし町民が使いやすい制度に



谷口 議員

わっていない。

谷口 リセットをするということだが、その際に内容など変更を一緒に行うという話を聞いていたが、住居と一体型になつていて箇所のみという条件を取り外す予定は。

谷口 町政執行方針の中で住環境リフォームのリニューアルに取り組みとあるが、具体的な内容は。

町長 住環境の改善により町民が長く本町の住み続けてもらうための定住対策と町内消費喚起による商工業の振興対策としてスタートし8年が経過、過去に事業を実施した町民から別な箇所を改修したいとの声もあり、今年度から過去に補助金を受けている方も含め、補助金額上限を対象とすることに踏み切った。条件などは、従前と変

とはならないが、今後別な補助事業で行うかについては参考意見として聞かせていただく。

谷口 リニューアルによる申し込みの増加、消費税増税に伴う駆け込み需要が考えられるが、予算が不足した場合の考え方は。

町長 本事業は今後4年間継続することとしており、また町内事業者の受注状況や予算額の平準化も考慮し、毎年当初予算の範囲内で事業を進めることを基本としている。

谷口 店舗出店等事業、店舗改修事業の今後の展開やリニューアルの考え、空き家バンクとの連携についてはどのように進めていくのか。

いが、着実に実施されていることから、今後

も事業の需要があると認識している。特に店舗出店等支援事業では、今年度も第三者への事業継承や地元企業が新たな事業展開を模索している」と聞いている。

第一期の事業期間が平成31年3月31日までの5年間とし、新たに令和5年3月31日までの4年間を第二期の事業期間として進めるので、現行の制度に関して精査を行い要綱の見直しを行うなど、今後も取り組んでいく。空き家バンクの連携については、申請者の誤解を招かないよう、住宅部分と店舗部分のすみ分けを確実にい混同しないように進めていく。

谷口 全国的にもさまざまな地域で行われている「地域おこし協力隊」を活用し空き家や空き店舗を利用しての

新たな取り組みの考えは。

町長 政策の中で非常に悩んでいる点があるが、その一つに協力隊がある。津野町や道内では積極的に取り入れている地域もある。何をもち活用するかを含め、町民の世論を喚起し前向きに検討しなければならぬ。将来的に隊員が自治体職員で採用されている例もあり、訓子府町では何を彼らにお願いしなければならぬのか含めて検討させていただき



店舗改修が進んでいる商店街

たい。

谷口 さまざまな町民のための制度が充実されているが、申請の仕方が難しい、窓口がどこか分かりづらいとの声が多く、機構改革の中で補助金の部署を作る予定は。

町長 町民のためには全部ひっくるめた方が良いと思う。社会教育団体等との関係などを精査しなければならぬため、近々の課題である商工業振興の一元的な仕事とするセクションを設けたい。

※一口メモ

地域おこし協力隊とは人口減少や高齢化等の進行が著しい地方において、地域外の人材を積極的に受け入れ、地域協力活動を行ってもらい、その定住、定着を図る制度。

高齢者住宅の整備は

町長 ▼ ▼ アンケートを実施して検討する



河端 議員

河端 訓子府町の人口も5千人を切り高齢化率も38%となりますます過疎、少子・高齢化が進んでいます。

近年、離農や農業経営を移譲したりした後も実践会地域に住み続けている高齢者世帯が増え、中には暮らしに不安や不便を感じて市街地に移り住みたいと希望している方もおりますが、自宅があるなどの理由で公営住宅などには入れないなどの制約があります。

高齢者住宅の整備をどのように考えていますか。

町長 実践会地区から市街地の公営住宅に入居される方は、1年に1件程度います。

町営住宅等への入居は、現に住宅に困窮している等の条件が必要なので、持家のある方は、持家の譲渡や取り壊しなどの処分をしてから入居していただいています。

近年、農業を引退した方が市街地居住を希望したり、後継者世帯が市街地に居住したり従来とは違った居住形態が増加しています。

町では、高齢者をはじめ、障がい者や子育て世帯などの住宅に困窮する方々が安心して暮らせる住環境づくりに努め将来を見据えた住宅施策を検討します。

河端 本町の70歳以上の一人暮らしの高齢者は150人位います。

高齢者世帯で老老介護や老認介護をしている人も増えています。

町長は、そのような実態をどう捉えていますか。

町長 私も実践会地区に住んでいますし、それは非常に重要だと捉えています。

河端 高齢者の転倒事故は、戸外より室内で起きていることが多く、転倒による骨折などで車椅子生活になることも多いようです。高齢者も障がい者も安心して暮らせるバリアフリーの住宅建設が必要なのではありませんか。

町長 現在、検討している住宅構想は、「高

齢者向け住宅」「子育て世代向け住宅」「単身者向け住宅」の住棟をコミュニケーション形成が図られるよう配慮した計画です。

今年度、高齢者世帯や子育て世代等にアンケートを実施し、この結果や各種計画等を基に検討します。

周年事業の考え方は

町長 ▼ ▼ 開基と町制施行の記念事業を実施

河端 来年は、訓子府町が置戸町から分村して100周年、町制施行から70年になります。

町政執行方針の中で「町民と共に100周年の成功と未来に向けた町づくり」について触れています。

過去に行われた周年事業は、開基、開町、町制施行などの節目で行われていますが、最近では、平成28年度に開基120年記念事業が4,700万円かけて盛大に行われました。

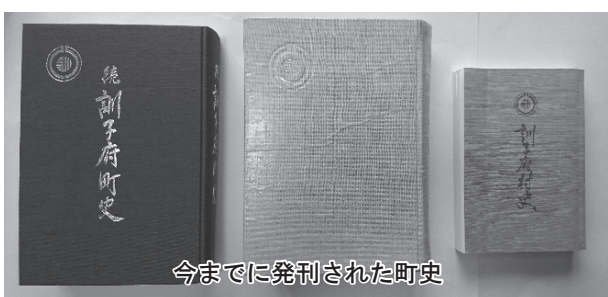
周年事業のあり方をどのように考えますか。

を協議し開催していく予定です。

平成10年に発刊した「統訓子府町史」から20年以上経過しているので町史の編さんも着手していきます。

河端 3年前に開基120年記念事業があったばかりなのでお金をかけて大々的に行うことはいかがですか。

町長 準備委員会で協議して進めていきたいと考えています。



今までに発刊された町史

定住自立圏構想にどう臨むのか

町長 ▼ ▼ ▼ 1市4町がウィンウィンの関係で



工藤 議員

工藤 今年3月の第1回定例会でも、北見市を中心市とする「定住自立圏構想」について質問してきたが、現時点での北見市との協議はどのようなになっているか。

町長 北見地域定住自立圏形成協定準備会を設置し、生活機能の強化、結びつきやネットワークの強化、圏域マネジメント能力の強化の3部門、16分科会で構成し、北見市も座長として1市4町の担当課長で各2回の協議を行うなど精力的に進めている。一方、本町で

は4月18日に町長を本部長とする「訓子府町定住自立圏構想推進本部」を設置し、北見市との協定に関することのほか、事業推進などを協議している。

工藤 今後の進め方は、

町長 北見市との協定案については、1市4町の首長会議で、各町の第3回定例会での提案を予定した。その後、北見市が主管する各市町の住民で構成する「共生ビジョン懇談会」で「北見地域定住自立圏共生ビジョン」を策定する。

工藤 この取り組みを進めていくうえで、1市4町がこの構想にどういうスタンスで臨むのか、あるいはどう位置づけているのか。

町長 確認された第1点は、広域連携の本来の趣旨からいえば、オホーツクの内陸にある美幌・津別も含め北見市・置戸町・訓子府町

の1市4町で進めていくこと。また、国が進めている「自治体戦略2040構想」とは相入れない。あくまでも1市4町がウィンウィンの関係で、それぞれが自立した自治体として今何ができるのかというところで確認されている。

人口減少対策に向けた体制整備が今可能か

町長 ▼ ▼ ▼ 今年はできないが来年の4月には必ずやる

工藤 執行方針で、人口減少対策に向けて総合的対応が必要であり、組織的な体制整備を進めたいとの考えを示しているが、もう少し具体的な説明を。

町長 人口減少社会を迎え、子育て支援や福祉政策、持続可能な産業基盤づくり、移住・定住、交流・関係人口の拡大につながる特色あるまちづくりを具体

的に進める組織体制の検討が必要になっている。

工藤 このことに期待をしているが、人口減少対策に向けた体制整備が、本町で今可能か。

町長 本年7月1日付での機構改革は諦めた。しかし、来年の4月には必ずやる。職員がチャレンジ精神を持ってやれる体制をどうつくっていくの

か。商工業、農業、福祉の3つの柱の中でどういう形がスピードアップを持ってやっていけるかを、来年の4月に向けてやっていかなければならない。

0人、地方創生人口ビジョンでは令和22年に3,600人と人口減少に向かう初めての計画を策定した。このようなかで、町民が主体的に参加する「おまかせ」ではない真の民主主義による「地方自治」を目指して、町長、議会、住民の強い意志をもって、人口減少を乗り越えていかなければならないと思っている。

工藤 人口減少時代の「地方自治」のあり方についてどういう見解を持っているか。

町長 第6次訓子府町総合計画では、令和8年の総人口を4,500



次の代を担う子どもたち

今後の基盤整備事業の取り組みは

町長 ▼▼ パワーアップ予算継続に向け要請実施



西森 議員

西森 本町の基幹産業の農業分野において、基盤整備により農業が発展、町が栄え今日につながっています。その実績により農産収益として町を潤しています。そこで基盤整備事業のサイクルはどのように考えているか伺います。

町長 この事業は昭和48年の北見南部地区をスタートに全町をエリアとし国営事業1地区、道営事業17地区、団体営事業28地区で農地基盤整備を実施してきました。結果農業粗生産額130億円を超える

農業の町として今日に至っています。現在は町内5地区で面事業を実施、今後は令和7年度までに事業完了予定であることから、今年度町全体の期成会を発足しJAによる事業要望調査を基に地区割優先順位を検討、道・町・JA・期成会が連携し事業計画に取り組みが必要があると認識しています。

西森 基盤整備事業について町費、道費、国費、その他の考え方があるのか伺います。

町長 現在の事業については国費、道費の補助を受けながらすべての地区を道営事業により実施しており、今後補助事業を活用し事業推進していきます。

西森 大型機械が主流となる昨今、一圃場の集約面積の拡大を考えた事業も考える時期ではないですか。

町長 現行の基盤整備事業において圃場や作業機の大型化に対応するため、区画整理、農地造成による整備など必要とする工種選択をし実施することで生産基盤の改善が図られると考えています。今後事業予算確保や農業者の負担軽減を念頭にパワーアップ予算の継続に向け要請活動などを実施していきます。



基盤整備を待つ大地

西森 3月の定例会で町内のインターネット通信環境について質問しましたが、多額の経費を要するので、急速に技術革新が進む無線系の活用も見極め検討するとの回答がありました。その後の検討状況、さらに平成30年度と令和元年度の国の整備方針の違いを伺います。

町長 総務省は最先端技術の活用に対する財政支援を今年度から強化しました。条件不利地域での光ファイバ網の整備に対する補助事

光ファイバの整備方針

町長 ▼▼ 地域間格差が生じない一歩前進した検討を

業については、今までは地方自治体が整備する場合にしか補助対象でなかったが、民間事業者が整備する場合も補助対象となりました。

町長 多額の経費を要し技術的な面で解決しなければならぬことがあるが、インターネット通信環境については地域間格差があつてはならないと考えており、今後は農業のスマ

西森 今後の光ファイバ整備方針はどう考えていますか。

町長 多額の経費を要し技術的な面で解決しなければならぬことがあるが、インターネット通信環境については地域間格差があつてはならないと考えており、今後は農業のスマ



光ファイバで快適に！

ート化への活用についてJAと協議するほか、対象地域の皆さんへのニーズ調査、整備エリア、方式の選択など一歩踏み出した検討を進めていきたいと考えています。

特産品開発への支援の成果と課題は

町長 ▼ ▼ ▼ 民間主導の拠点環境整備の検討



西山議員

民団体の育成と自主的な活動を支えるとともに、まちの元気づくりにつながっていると確信しています。

西山 平成23年度から実施している、町民税1%相当額を活用して、

町民の自主的な活動を支援する「まちづくりパワーアップ特別対策事業」の検証と今後の取り組みについて伺います。

住民の主体的なまちづくり活動としてのどのような効果がありましたか。

町長 主な事業で「わくわく地域づくり活動事業」「コミュニティ施設等整備事業」「地域活性化チャレンジ事業」など8年間で1,694万円を投じ、町

西山 町の特産品開発への支援の成果と課題は何ですか。

町長 地域活性化チャレンジ事業により町内の団体、法人、個人にも対象を拡充し、事業の立ち上がり段階を支援してきました。

特産品については、生産量が小規模で販路が不足するなど生産者が加工、販売を担う6次産業化の立ち上がりに苦戦しているのが、実態です。

地域が主体となった歩みを止めることなく活動の中心となる民間主導の拠点環境整備の

検討も必要と考えています。

西山 コミュニティ活性化事業が未だ実績がないのはなぜですか。

町長 この事業は、町内会、実践会などが例えば、防災対策、除排雪サービス、子どもの見守り、高齢者の活躍



補助事業から生まれた特産品の一部

の場の提供など、地域課題に幅広く使えるものと考えています。

実績がない理由は、具体的な事例を示すことをしていなかったなど、説明や紹介方法に

児童センターの利用状況と課題は

教育長 ▼ ▼ ▼ 支援員の体制づくりの充実を図る

西山 今年で7年目を迎える児童センター

「ゆめゆめ館」の直近3か年の、利用状況と課題と対策は何ですか。

教育長 利用延べ人数として平成28年度1万2,500人、平成29年度1万3,360人、平成30年度1万2,868人であり、直近3か年の利用児童数は、ほぼ横ばいです。

保護者の就労形態の多様化から、児童クラブの児童の週末・学校休校日の利用児童が増えています。

工夫が足りなかったなどが考えられます。今後はより地域に踏み込んだPRを進め、この事業が地域の活性化につながればと考えています。

児童の利用が急増する時間帯や時期の代替え支援員の増員配置や施設内利用の分散化を図り、子どもたちが安

心安全に過ごせるように努めています。

西山 支援を必要とする児童への対応と職員

の体制づくりの考えは、要とする児童が増加傾向にあり、放課後児童支援員3名のほか、特別支援員として、平成30年度1名、本年度1名増員し対応しています。今後も支援員の体制づくりの充実を図り

子どもの特性に応じた施設整備の検討を進めたいと考えています。



子どもたちに人気のゆめゆめ館

静寿園への支援内容は

町長 ▼▼▼ 施設存続に向け町・議会・施設で検討



山田 議員

山田 菊池町政4期目はやり残した課題の総仕上げとの位置づけだ。

今後4年間の町づくりの方向性を伺いたい。まず、当選後、新聞に発表した政策等への今後の町民意見の把握と反映の仕方は。

町長 町づくり推進会議、夜間町長室、車座トーク等を通じ意見等を施策に反映してきた。4期目は「訓子府町まちづくり町民参加条例」による審議会、まちづくり意見募集、アンケートなどの町民参加手続きで意見反映し、住民にさらに寄り添う

まちづくりを進める。

山田 町民意見の把握、反映に係る選挙公約ピラをミスから菊池候補は配れなかった。

有権者の公約を知る権利が守られないまま、結果無投票当選した前代未聞の選挙だった。認識や反省等はあるか。

町長 公約を示す機会を逸したのは事実だ。しかし、新聞に一通り

のことは載せ、今後広報誌に全文を載せたい。

山田 後援会活動でもパンフレットを携え町内を回った姿もなかった。公約を新聞に出したと言うが、購読者向けで正式公約でない。

選挙後に新聞に後出しするのも問題がある。**町長** 現職は多忙だし、戸別訪問の問題もある。

新聞取材を受け対応をすることは必要だ。

山田 記事にドッグランという事業名が載ったが、犬の運動場とは唐突感が強い。新聞発表までの経過は。

町長 まちづくり委員会が出た要望でもある。今後、事業にできるよう検討をしたい。

山田 事業実施に向けて町民意見を把握するために実施するアンケート調査の対象事業は。

町長 事業によってはアンケート調査したい。アンケート調査したいて・教育及び福祉施設と定住・人口対策の連動について伺う。

町長 山田議員から子育て・教育、福祉施策を広く内外に発信し、人口対策につなげる意

見をいただいていた。「子育てするなら訓子府」「教育の町、訓子府」の実現は確実に進んでいる。町の魅力の底上げで定住・人口対策につながる。

山田 機構改革を行うようだが、子育て・教育、福祉施策の成果と新事業を加え戦略的な発信を内外に強めるための機構改革となるか。

町長 検討はするが、やると明言はできない。**山田** 願わくば移住・定住に特化したプロジェクトを立ち上げるべきだ。北海道も移住・定住に熱意ある自治体を積極支援しているが。

町長 機構と業務内容は今後検討していく。**山田** 三点目に町民の老後の安心を担保する訓子府福祉会への支援策はどうするか。町を回ると在宅介護への不安と静寿園への期待の

声が想像以上に多いが、

町長 静寿園は国の介護報酬引き下げと要介護3以上への入所基準改定で収入不足から令和2年度末には積立金がなくなる。

今回の補正予算に経営アドバイザー委託費をのせ、静寿園には経営改善計画を策定していただき、その後、施設存続に向けた支援策を検討していく。

山田 アドバイスの結果、単純に人件費削減

をすると職員力で支える施設では、逆に運営危機の心配がでる。

それでは多くの高齢者が期待する静寿園の存続や発展にならない。

町の支援策は金額や率はともかく、人件費を補助対象から単純に外すのは避けるべきだ。

町長 人件費を外すとは言っていない。専門家のアドバイスを今後、町・議会・施設とで検討したい。



学校教育と社会教育の補助金の違いの理由は

教育長 ▼▼▼ 社会教育活動は自主的活動なので



余湖 議員

余湖 訓子府町では全道大会の子どもたちへの派遣費用については学校教育の活動では全額、社会教育活動（スポーツ少年団活動や訓小スクールバンド）では半額と格差があります。

双方の活動ともに目標に向かって仲間とともに汗を流して、努力することは同じ値のあることだと思えます。学校活動と社会教育活動への補助金の違いの理由を伺います。

教育長 スポーツ少年団などにおける小中学生の大会派遣費につい

ては、社会情勢の変化や近隣市町の状況、団体からのニーズに 대응しながら補助内容を見直し今日まで拡充を図ってきました。

平成28年には要保護・要保護世帯については対象経費の全額公費支援を行ない保護者の経済的負担の軽減を図ってきました。

学校教育活動と社会教育活動の補助金額の差は、要保護世帯については対象経費の全額公費支援を行ない保護者の経済的負担の軽減を図ってきました。



毎年全道大会に出場している訓小スクールバンド

要綱」に基づき管内予選を通じて全道大会に出場する際は補助対象経費の2分の1を補助しています。

今後も、大会派遣費については、社会情勢や近隣市町の状況、各団体や保護者のニーズを踏まえながら補助内容について調査研究していきたいと考えています。

少年団などの社会教育活動につきましては「自主的な活動への支援」の考え方で「訓子府町社会教育・社会体育関係大会派遣費補助

余湖 昨今の自然災害・人的災害を含め訓子府町の住民の安全・安心・生命・財産を守っていくためには町の防災部門と非常時実動部門となる消防支署の働きおよび連携は今後の重要な課題だと思います。

今後の防災力強化に向けて防災の専門職と

消防職員の町の防災担当への出向の考えは

町長 ▼▼▼ 現在の職員体制では難しい



いざという時のための防災備蓄

修を受けるなどさまざまな対応に備えています。

一方、本町防災担当職員については専任の職員を配置するまでに至っていない状況であります。

消防職員を防災分野における専門職員として本町の防災担当係に配置し、行政部門と消防部門の連携強化を図ることは理解するところですが、現在の職員体制では難しいと感じています。

※余湖議員は、この他に「民間提案型住宅（タウンコート）整備事業について」の質問をされました。

議員の公務の出欠状況

議会基本条例の中で町民の信頼と負託に応えるために「議会活動に関する情報公開を徹底すること」ならびに「議員としての責務」の規定があります。このことから議員の公務出欠の公表を行うこととしました。

令和元年5月7日～7月31日までの出欠状況を掲載します。

月 日	会 議 名	泉	工藤	谷口	河端	西森	山田	余湖	仁木	西山	須河
5月 7日	令和元年第1回臨時会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5月17日	議会広報特別委員会	○	—	—	○	—	—	—	—	—	○
5月20日	新人議員研修会	○	—	○	—	—	—	—	○	—	○
6月 3日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議会活性化特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6月 4日	議会運営委員会	○	—	○	—	○	—	—	—	○	○
6月 5日	総務文教常任委員会（第2回定例会議案の審査等）	○	○	○	○	—	—	—	—	—	○
6月 6日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	産業建設常任委員会（第2回定例会議案の審査等）	—	—	—	—	○	○	○	○	○	○
6月18日	令和元年第2回定例会（～20日）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6月20日	議会広報特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議会活性化特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6月24日	町有林野経営審議会現地視察	—	—	—	—	—	—	○	—	○	○
6月25日	北海道町村議会議長会議員研修・先進地行政視察（～26日）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6月27日	議会広報特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7月11日	議会広報特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議会活性化特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7月18日	議会広報特別委員会	○	—	—	○	—	—	—	—	—	○
7月22日	新人議員研修会	○	—	○	—	—	—	—	○	—	—
7月24日	議会活性化特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議員研修会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7月29日	総務文教常任委員会（所管事務調査）	○	○	○	○	—	—	—	—	—	○
7月30日	産業建設常任委員会（所管事務調査）	—	—	—	—	○	○	○	○	○	○

○：出席、欠席理由（公：公務、病：病欠、冠：冠婚葬祭、私：私事）

お詫び

第2回定例会初日の6月18日午前中の審議が延びたことにより午後から予定していた一般質問の開始時間が遅れました。13時から傍聴に来られた皆さまには大変ご迷惑をおかけいたしました。

議会モニターからの意見

5名の議会モニターから「議会だより（5月1日発行の201号）」と「議会ホームページ」について出された意見を紹介します。

各項目については議会として検討し、今後の議会活動に生かしていきたいと思います。

議会だよりについて

◆消防庁舎について、50年を経過しているので建て替えは急務な気がする。スポーツセンター建設のあとに消防庁舎の建設となると、予算の出し方や支払いについてもっと深く考えなければならない気がする ◆10ページの「農業の持続的な発展」について、農業基盤整備事業、水路施設の話しか出てこないのはどうかと思う。もっともお金のかかる部分ではあるが、それ以外に大切なことがあると思う。生産物の高付加価値化や商品開発、後継者の育成など「農業＝畑整備」以外のことも考えられるのではないか ◆とても見やすくなったと思う ◆特集ページを設けて町政の今の課題は何なのか、それに対する議員の考え等が知りたい（議員を知るきっかけにもなる）。また、その後どのように取り組んだのか、結果はどうなったのかも載せてほしい ◆一般質問を読んで、質問内容が普段の生活とかけ離れていて、保険税率とか総合計画、パブリックアートなど町としてはとても大事だと思うが、もっと身近な質問の方が関心を持って読んでみようという気になると思った ◆実際に町民の意見を聞いて議会で質問しているのか疑問に思う

議会ホームページについて

◆「定例会・臨時会のお知らせ」をクリックすると「お探しのページは見つかりません」になるのは、見てもらう立場からいってどうかと思う ◆議会ネット配信してほしい ◆議員紹介をクリックしても、またクリックしないと出てこない ◆写真を載せたらよいと思う ◆シンプル過ぎて変化が見られない



**上原豊茂前議長
自治功労者
表彰受賞**

町議会議員として、15年以上在職し、地方自治振興に寄与された功績に対して、北海道町村議会議長会から表彰されたもので、6月28日正副議長室において、須河議長より表彰状が伝達されました。

所管事務調査（原案可決）

総務文教・産業建設の各常任委員会から、所管事務について、令和元年度閉会中も継続調査ができるように議長に対し議決の願いがあり、可決しました。

総務文教常任委員会（調査事項）

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none">①入札執行状況②今後のまちづくり③国民健康保険事業の運営（後期高齢者医療制度含む）④町税の収納及び賦課状況・滞納繰越・不納欠損処理状況等（町営住宅使用料は除く）⑤各種福祉政策⑥児童センターの運営 | <ul style="list-style-type: none">⑦各種予防業務の実施状況⑧子育て支援センターの運営⑨こども園の運営⑩スポーツセンター及び町営温水プールの利用状況と維持管理⑪図書館及びくねっふ歴史館の管理運営⑫青少年研修館の利用状況⑬その他委員会の所管に関する事項 |
|--|---|

産業建設常任委員会（調査事項）

- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none">①農業振興②畜産振興③中小企業の振興④堆肥供給センター⑤温泉保養センターの管理運営⑥町営及び町有住宅の維持管理⑦建築及び土木工事の執行状況 | <ul style="list-style-type: none">⑧下水道事業の運営⑨上水道事業の運営⑩道路、河川の維持管理⑪公園の維持管理⑫町有林の維持管理⑬その他委員会の所管に関する事項 |
|---|---|

議決した意見書

議員提案により次の意見書案が提出され、原案のとおり可決し、関係機関に意見書を提出しました。

◆日米貿易協定交渉から日本の農業・農村を守ることを求める要望意見書

1. 国民への安全で安心な食料を安定的に供給する観点から、わが国の食糧主権と食料安全保障を守ることを基本に、交渉内容の丁寧な情報提供を行い、国民合意がないまま交渉を拙速に妥結しないこと。
2. 農業者の不安を払しょくするため、国内の農業・農村をつぶしかねない米国の強硬な要求に屈することなく、重要農畜産物の関税削減・撤廃及び輸入枠拡大などは断じて受入れないこと。

◆新たな過疎対策法の制定に関する要望意見書

〰〰〰 ひとことインタビュー 〰〰〰

議会を傍聴された方に感想を聞いてみました

◆議会傍聴のきっかけは？

町民の声を聴く場として元々興味があり、何度か傍聴しています。

◆傍聴した感想は？

今回は選挙後初の一般質問があり、新しい息吹が吹き込まれていて町づくりへの意欲と熱意を感じました。

◆議会に望むことは？

町づくりの礎となる人づくりのために、熱意をもって頑張ってほしいと思います。

報告

研修会および先進地の視察研修を通して、議員の資質向上等を図ることを目的に6月25日札幌市での北海道町村議会議員研修会および26日は滝川市議会への先進地視察研修について6月定例町議会で全議員の派遣について議決されました。

北海道町村議会議員研修会では講師二人の講演を聞き、先進地視察では滝川市議会が取り組んでいる「議会インターネット中継」についての話を聞くことができました。「開かれた議会」を目指す本町議会にとりまして大変有意義な視察研修となりました。研修の報告は次のとおりです。

札幌市 道町村議会議員研修会

6月25日札幌市内で今年度の北海道町村議会議員研修会が開催され、全議員が参加しました。

中央大学の佐々木信夫名誉教授は、「議会はどう変わるか、自治体をどう変えるか」と題した講演で、わが国の地方の人口維持に固執する政策に疑問を呈し、維持に必要な出生率2.07(現状は1.42)の実現は困難と述べました。

人口問題の核心は、東京と地方の人口と税収の片寄りであり、それを是正する国政が重要とのことでした。

国の財政支出と税収の推移は、昭和50年度ころから「ワニが口を開いた形」のように支出が税収を上回り、国債発行(借金)でしのいでいます。また、その税収は東京一極集中であり、東京と地方がウィンウィンの関係(ともに栄える)になるには、抜本的政治経済改革が必要だそうです。

一手法として、新幹線や航空料金への大型公費投入による値下げを通じて、移動・流通の活性化で格差是正を促進すべきとユニークな持論を展開しました。

平成20年の地方分権一活法の制定により、国から地方への機関委任事務が廃止、法定受託事務となり、地方議会に条例制定権が付与されました。結果、立

法機能や監視機能の強化が求められる地方議会は現在では自立性が重視されています。

衆参両国会に法制局が設置されているように、地方議会にも適正な立法機能を支える同様のしくみが必要と力説しました。

ただし、単独の設置は困難なので、広域行政で設置すべきと解説がありました。

「地方議会法制局の広域設置」は初耳の新説であり、旧態を改革する思い切った試みに共感を覚えました。

また政治評論家有馬晴海氏の講演「どうなる？今後の日本政治」は、中央の第一線で活躍する論客の見解は大変参考になりました。(山田日出夫)



有馬 晴海 氏



佐々木 信夫 氏

滝川市 道内先進地視察研修 —滝川市議会「議会インターネット中継」—

訓子府町議会ではより開かれた議会を目指し、議会活動を知ってもらうために「インターネット中継の導入」を検討しています。

平成25年から本会議のインターネット中継を実施している滝川市議会でも視察研修してきました。

導入までに平成22年から3年間の検討を重ねて平成25年第2回定例会から中継を実施しています。

当初は、既存設備、既存映像を使用してユーチューブで配信していましたが、昨年からユーチューブでの配信に変更しています。

現在は本会議ライブ中継、本会議録画映像配信、予算・決算審査特別委員会録画映像配信をしています。

初期投資はパソコン、カメラ、AVミキサーなど

100万円程度で、年間ランニングコストは7万円ということでした。

研修結果を踏まえて本会議のインターネット中継を前向きに進めていきたいと考えています。

(河端 芳恵)



議会の主なうごき

5月		7月	
7日	第1回臨時会 全員協議会	25~26日	北海道町村議会議員研修会・先進地行政視察研修(札幌市、滝川市:全議員)
8日	開拓記念日の集い(全議員)	27日	議会広報特別委員会
15日	訓子府町商工会通常総会(議長)	28日	上原前議長への自治功労表彰伝達(正副議長)
17日	議会広報特別委員会		
20日	新人議員研修会(泉・谷口・仁木議員、議長)		
21日	訓子府高等学校教育振興会議(議長、総文委員長)		
24~25日	オホーツク町村議会議長会定期総会(滝上町:議長) 北網ブロック町議会議長会総会(滝上町:議長)		
25日	訓子府中学校運動会(副議長、総文委員)		
30日	オホーツク圏活性化期成会定期総会(網走市:議長) 石北本線部会(網走市:議長)		
6月			
1日	訓子府小学校運動会(議長、総文委員) 居武士小学校運動会(副議長、総文委員)	1日	訓子府町農業担い手対策推進協議会総会(議長、産建委員長)
3日	全員協議会 議会活性化特別委員会	2日	老連パークゴルフ大会(議長)
4日	議会運営委員会	8日	オホーツク圏活性化期成会農林水産専門委員会(北見市:議長)
		9日	訓子府中学校参観日(議長、総文委員)
		11日	議会広報特別委員会 議会活性化特別委員会 夏の交通安全運動街頭啓発
		14日	ふるさとまつり(議長)
		15日	戦没者追悼式(全議員) 陸上自衛隊美幌駐屯地創立68周年記念行事(正副議長)
		18日	議会広報特別委員会
		24日	議会活性化特別委員会 議員研修会
		29日	総務文教常任委員会所管事務調査
		30日	産業建設常任委員会所管事務調査
		31~8月2日	オホーツク圏活性化期成会夏季要望(札幌市・東京都:議長)
5日	総務文教常任委員会		
6日	全員協議会 産業建設常任委員会		
7日	美幌地方自衛隊協力会総会(美幌町:副議長)		
8日	訓子府消防団消防演習		
11日	北海道町村議会議長会定期総会(札幌市:議長)		
13日	老連ゲートボール大会(議長) 北海道横断自動車道北見地区早期建設促進期成会総会(北見市:議長)		
14日	訓子府町暴力追放推進協議会総会(議長)		
15日	こども園運動会(正副議長、総文委員)		
17日	ふれあい昼食会(議長)		
18~20日	第2回定例会		
20日	議会広報特別委員会 議会活性化特別委員会		
21日	訓子府町津野町交流事業推進協議会(議長)		
23日	北海道消防協会オホーツク地方支部北見分会連合消防演習(津別町:議長)		
24日	社会を明るくする運動訓子府地区推進委員会(議長) 訓子府町有林野経営審議会現地視察(正副議長、産建委員長)		

委員会等の活動

議会運営委員会
6月4日(火)
第2回定例会の運営方法について協議

議会広報特別委員会
5月17日(金)
「議会だより」臨時号の確認

総務文教常任委員会
6月5日(水)
第2回定例会における議案の審査について協議

議会広報特別委員会
6月20日(木)
「議会だより」第201号の問題提起、次号の掲載予定記事の確認

産業建設常任委員会
6月6日(木)
第2回定例会における議案の審査について協議

議会広報特別委員会
7月11日(木)・18日(木)
「議会だより」第202号の確認

総務文教常任委員会
7月29日(月)
所管事務調査事項の資料調査

議会広報特別委員会
6月27日(木)
第2回定例会での一般質問の原稿等を確認

産業建設常任委員会
7月30日(火)
所管事務調査事項の資料調査

議会広報特別委員会
7月11日(木)・18日(木)
「議会だより」第202号の確認

あとがき

令和初の定例議会が6月に無事終わり、北海道にも爽やかな夏が訪れました。新たな議会構成が決まり、私たち新人議員は議会事務局と先輩議員の方々による丁寧な指導を受け、何とか活動できています。町の行事への参加や委員会活動でも多くの学びや出会いがあります。今後も町民の皆さまにしっかりと向き合い、信頼される議会を目指して努力していきます。

泉 愉美

議会広報特別委員会

委員長	美 愉
副委員長	恵 芳
委員	喜彦 弘武 日出 夫三 人美
委員	藤 弘 武 信 日 龍 義 由
委員	工谷 森 田 湖 木 山
委員	西山 余 仁 西

議長 須 河 徹

町議会ホームページはこちらから
<http://www.town.kunneppu.hokkaido.jp/gikai/>



訓子府町議会 検索